
Time・Emit

紫眩

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Time・Emi t

【Nコード】

N2464Z

【作者名】

紫眩

【あらすじ】

世は今よりずっと未来。今では空間に出入りすることが可能になった。そして空間を整備、監理している国際機関がある。それをCSC（空間整備機関）という。だがCSCの基地を乗っ取ればこの世の支配者となる。だからCSCの基地にはある工夫がしてある。それは、基地内に所々スイッチがある。それを押すと、基地内にいる人全員の時が止まる。だがCSCには一人一人にパスワードカードを渡しており、そのカードに反応して時が止まるのを防げる。つまりCSCに入っていない人だけが時が止まる。そうCSCは完

壁の機関なのだ。

1章 刹那《はじまり》（前書き）

文章力が有りません

6年生の時に作った作品です

1章 刹那《はじまり》

「な…なんだ!？」

C S Cで何かが起こった。

「長官! く…空間にひびが!」

「な…なに?」

なんと空間にひびがはいつてしまったのだ。空間にひびがはいると地球の時

が止まってしまう。だが今の状態ではあまり空間にひびがはいつていないので

時は止まらない。でもそう簡単には空間にひびがはいらぬ。ひびがはいった

原因はまだ分からない。C S Cの監視室の作業員は空間に出入りした人は見て

いない。だがなんで空間にひびがはいつたのか? 謎である。…とその時、基地

内に非常ベルが鳴り響いた。侵入者だ。そしてC S Cの作業員はスイッチを押し、時は止まった。だが、基地内を見ても時が止まっている人がいない。これはおかしいと皆が思った。そして長官が基地内に放送した。

「侵入者なんかはいない! それと空間にひびがはいつた理由が分かっただぞ…」

と言って、放送が切れた。そしてなんと空間にひびがはいつた理由が分かったそうだ。だがそこで放送が切れてしまったため肝心な

部分が聞けなかった。

とりあえず作業員皆は長官がいるCSC長官室に向かった。あるCSCの作業員が長官室に一人で行くと：

「ちょ・・長官：」

と言って倒れてしまった。そして皆が長官室に着くと目の前に監視長がいた。：とその時、監視長が作業員を襲い、一人の少年作業員を残して皆倒れてしまった。

「貴様だけは生かしてやる。刹那^{せつな}」

一人の少年作業員の名は刹那という。でもなぜ刹那だけ生かしておくのか？それは刹那は12歳で国際機関CSCに入った天才小学生なのだ。それともう一つ刹那はある組織の息子なのだ。それは闇^{ライ}フラブリュートディレクション組織LADのボスの息子だ。LADとは政府に敵対している組織。その目的は未だかつて謎である。

：と刹那は長官室を覗いていると長官が倒れていた。

「お：お前長官に何をした！？そしてお前は誰だ？」

「俺か？俺はLAD幹部。幹部大総長、加来^{かく}だ」

なんと監視長はLADで幹部の中でトップに立つ者だった。いままでの監視長は闇組織だったのだ。そして基地内に非常ベルが鳴ったのは加来が嘘で鳴らしたものだ。スイッチを押しても時が止まっている作業員がいなかったのは、加来は監視長だったのでパスワードを渡されておりカードに反応したからだ。

刹那は加来にCSCのある場所に連れて行かれた。そこは長官以

外立ち入り禁止の場所だ。なかには色々装置があった。刹那が連れて行かれた場所は空間操作室だった。空間操作室とは、名前のとおり空間を操作できる。空間を移動させれば移動した空間の場所、地球の場所が変更される。空間にひびをいれることも可能だ。ということは何者かが空間操作室に入り空間にひびをいれた。

「ひびをいれたのはお前か？」

「俺ではない。」

「では誰だ？」

「それは教えられない。」

ひびをいれたのは加来ではない。つまりCSCにはもう一人LADの幹部がいる。だがその人物はわからない。加来は空間操作機を使った。加来は空間にひびをいれた。とその瞬間地球の時が止まった。だが刹那や加来の際は止まっていない。

「な・・・なんで？」

「時が止まらないのが不思議か？」

「…」

「お前が昼に飲んだ水にはある科学物質をいれたんだ。それはLADが作った人類初の科学物質、MT004だ。それには時を止まるのを防ぐ能力があってな…それを飲むと永遠に時は止まらない。ちなみにLADの皆が飲んでいる。」

刹那と加来の時間が止まらない理由はLADが作った科学物質MT004を飲んだからだ。LADがMT004を飲んだってことはLADは誰にも邪魔されず計画が出来るということになる。刹那はすぐにCSCの基地を出た。すると刹那は信じられない光景を見た。それは、人間が一人もいないのだ。

「なぜだ…なぜ誰も…」

「俺達以外の人間は全員死んだよ。」

なんと、加来や刹那、LADの人間以外は死んだ。

「死…？な…なんで、なんで！？」

刹那は泣きながら加来に言った。

「LADの幹部がさっき俺が話している内に細菌を地球上にばらまいた。SI204という細菌だ。それを浴びると体が灰になっちゃう。恐ろしい細菌だ。」

なんとLADの幹部が地球上に細菌をばらまいた。つまり地球にはLADと刹那しかないことになる。

「お前らの目的はなんだ！？」

「俺ら…か？俺らはこの世界の邪魔な人間を滅ぼし、この世界の王になる。」

なんとLADの目的は世界の王になることだった。…とその時加来は刹那の首を叩き、刹那は気絶した。

1章 刹那《はじまり》（後書き）

すみません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2464z/>

Time・Emit

2011年12月8日22時01分発行